

## イノベーション・ジャパン 2018 へ出展参加

(社会連携推進センター)

8月30日(木)、31日(金)の2日間、東京ビッグサイトを会場に開催されたイノベーション・ジャパン2018に出展参加しました。本展示会は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が連携した、我が国の産学連携を強力に推進するための国内最大規模の産学マッチングイベントです。

全国の大学・高専から400の出展者が集まり、研究成果や開発技術の展示、セミナー等が行われました。会場では大学組織展示・プレゼンテーションも行われ、各大学の重点的な取り組みが紹介されました。

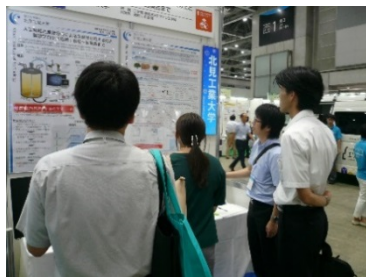
本学からは、超スマート社会ゾーンに地域未来デザイン工学科 小西正朗教授が取り組む「人工知能と成分分析による天然物の見える化と製造プロセス応用：食品～医薬品まで」、環境保全・浄化ゾーンに地球

環境工学科 齋藤徹教授が取り組む「洗剤と土や空気を用いる水の浄化技術」、そして地域未来デザイン工学科 兼清泰正准教授が取り組む「家庭で手軽にできる環境・健康診断に向けた色調変化型センサー」の3つの研究について紹介を行いました。

ブースでは試作品による実演やサンプルの展示も行われ、研究者による説明に来場者が熱心に耳を傾ける様子が見られました。

本展示会は、出展する技術の背景となる社会状況や関連市場などの情報を得ることができる貴重な機会であることから、本学においても研究力向上につながる展示会として重視しています。

イノベーション・ジャパンへの出展の実現には、厳しい審査をクリアする必要がありますが、本学のプレゼンス向上に大きく寄与できる場でもあることから、今後も出展に向け挑戦していきます。



小西教授(写真右から2人目)



齋藤教授(写真右)



兼清准教授(写真左)